



小田原・箱根の 電気自動車カーシェアリング

eemo の歩み

【イーモ】

小田原・箱根の電気自動車カーシェアリング「eemo(イーモ)」は地域の皆様のご協力を頂き、2020年6月1日にサービスを開始いたしました。

サービス開始当初は未熟な部分も多くありましたが、ご指摘を元に様々な改善を繰り返しながらサービス提供を進めて参りました。車両台数も20台(9ヶ所)から47台(27か所)まで拡大しております。

この度は、2021年6月1日にサービス開始1周年を迎えたことを記念して、eemoの1年間の歩みを皆様にご紹介させていただきます。



株式会社REXEVは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。



株式会社REXEVは、SDGs推進に資する事業を展開している県内企業として「かながわSDGsパートナー」に登録されています。



株式会社REXEVは、SDGsに関連した取組を展開している企業として「おだわらSDGsパートナー」に登録されています。

eemoは株式会社REXEVが運営する電気自動車カーシェアリングサービスです。

数字で見るeemo

総走行距離

約**20**万km

eemoが1年間で走った距離

再エネ利用率

67%

eemoが1年間で消費した電気の再生可能エネルギーの利用率

CO2削減量

CO2約**14**t

ガソリン車から電気自動車にシフトすることで削減できたCO2排出量。

※樹齢50年、高さ20-30mが1年間で吸収するCO2量に換算

のべ利用者数(利用回数)

約**5,500**人

eemoをご利用いただいた回数

車両数

47台

eemoで導入されている電気自動車の数

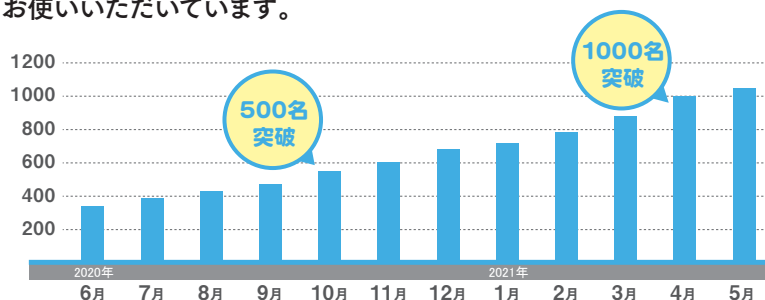
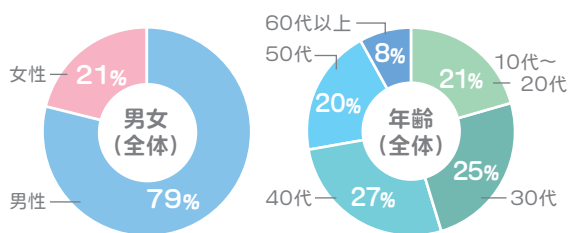
ステーション数

27か所

eemoの車が配備されているステーションの数

eemo会員数の推移

eemoの会員はおかげさまで1,000名を突破しました。
小田原市を中心として、老若男女問わず様々な方にお使いいただいています。



eemoステーションの拡大

2020年6月当初9ステーションから、3倍の27ステーションまで増加しました。
小田原エリアのみからスタートして、箱根、湯河原、開成/松田/南足柄エリアまで拡大しています。



eemo1年間の歩み

One Year History

2020

eemoは2020年6月にサービスを開始してから、さまざまな取り組みを行ってきました。少しずつですがeemoのこれまでの活動をご紹介します。

2020年3月17日

eemo テスト運用開始

車両や充電器の準備が整い、利用者を限定したテスト運用をスタート！小田原市長にもご利用いただきました。



3月

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

2021

1月

2月

3月

4月

5月

6月

2020年6月1日

eemo サービス開始



20台にてサービスの本運用を開始！コロナ禍での移動手段としてご利用頂くことを目的に、最初の1カ月は無償にてサービス提供を行いました。

2020年8月7日

Recampおだわらにて 「EVでワーケーション 応援セット」提供開始



電気自動車(EV)の蓄電池としての働きを体験いただく施策として、Recamp小田原さまにて「EVでワーケーション応援セット」提供が開始されました。

2020年11月17日

eemo利用中、ステーションにご自身の クルマを駐車することが可能に

サービス開始当初より多くご要望を頂いていた、「自分のクルマでステーションまで行ってからeemoを使いたい」という声にお応えるためにルール変更を行いました。

2020年12月2日

スタッドレスタイヤ対応

冬の箱根の山道にも対応するため、全車両の約半数にスタッドレスタイヤを装備しました。(毎年冬季は同様の対応を行います)

2020年12月19日

eemoが 小田原城二の丸広場を ライトアップ



小田原城北条市に出展し、夜間にeemoの電力を使用して小田原城二の丸広場のライトアップを行いました。

2021年1月29日

テレワーク応援セットを配備

電気自動車の「音が静か」という特性を活かし、コロナ下でのテレワーク利用を応援するため、全ての車両にテレワーク応援セット(ハンドルテーブルと100vインバータ)を配備いたしました。

2020年7月1日

湘南のでんき eemo割受付開始

eemo割受付開始とともに持続可能な街づくりに取り組む湘南電力様とのセットメニュー「湘南のでんき eemo割」の受付を開始しました。



2020年11月3日

おだわら スマートシティフェアにて 試乗会を実施

ダイナシティウエストにて開催されたおだわらスマートシティフェアにて試乗会を開催。感染拡大に注意しながら、電気自動車の乗り心地を体験いただきました。

2020年11月17日

eemoのステーションが「おだちん」スポットとして登録

小田原市内で実施されているSDGs体感事業「おだちん」のスポットとしてeemoが登録されました。



2020年2月9日

カラーバリエーションが 追加され 9色から選択可能に

従来シルバー1色だったeemoの車両が8色追加され、9色に増えました。小田原城本丸広場で撮影した写真はとてきれいに写りました。

2021年3月24日

MaaSアプリ「EMot」との連携を開始

小田急電鉄様のMaaSアプリ「EMot」からeemoのステーション検索ができるようになり、電車等の他の移動手段と組み合わせてご利用いただきやすくなりました。

2021年4月19日

運転者の交代が可能に

こちらも多くご要望を頂いていた、「運転中につかれた場合に運転を交代したい」という声にお応えて、事前に登録いただいた方との運転交代ができるようになりました。

今後のeemoの活動

2年目の活動として、より一層eemoを便利にご利用頂けるよう、更にサービスを強化していきます。

47台

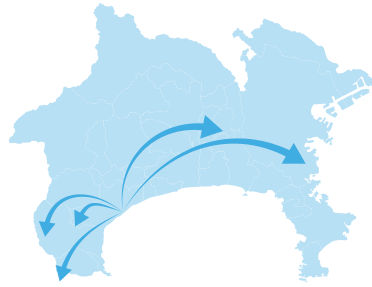


100台



電気自動車の台数拡大

現在47台の車両を来年度末までを目標に100台まで拡大していきます。



ステーション・エリアの拡大

現在神奈川県西部に27か所ステーションがありますが、今後車両の拡大に合わせてさらに拡大していきます。また、一部、神奈川県東部、中部にもエリアを拡大していきます。



地域との連携強化

より一層、小田原・箱根地域で便利にeemoをご利用いただくため、地域内の店舗・商業施設との連携を深め、eemoご利用時にいろんなスポットで特典が受けられるようにしていきます。

eemoの取り組みが広がっています

小田原で生まれたeemoの仕組みを使って、同様の取り組みが様々な地域・自治体で広がっています。小田原発の未来に向けた取組として、より一層の拡大を進めて参ります。

鹿児島県鹿児島市

住友商事株式会社、住友商事九州株式会社、日本ガス株式会社と協力して、企業間の電気自動車カーシェアリングに関する実証実験が2021年3月からスタートされました。取組にはeemoで開発されたシステムが活用されています。



埼玉県川越市

アースシグナル株式会社が営業車両としてeemoのサービスを利用しています。ステーションでは電気自動車へのシフトだけでなく、ソーラーカーポートも組み合わせたさらにクリーンな取り組みです。



東京都東久留米市

東久留米市庁舎の非常用電源確保手段として、太陽光発電システム、蓄電池、電気自動車を導入されます。電気自動車の制御にはeemoで開発されたシステムが活用される予定です。



※写真はイメージです



小田原・箱根 EVカーシェアリング

eemo — イーモ —

eemo

